



# 第34回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和4年6月18日(土)開催

主催:長崎シミュレーション教育研究会  
共催:長崎大学病院 長崎外来医療教育室  
地域医療支援センター  
シミュレーションセンター  
救命救急センター

# 第34回ICLSコース

## コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

## ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

## 実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、12名全員初期研修医であった。

スタッフ(サブディレクター1名、インストラクター3名、アシスタントインストラクター2名)計6名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

# 各ブースにおける感染予防対策

## 1. BLSブース

### 1)受講者・指導者手指消毒(ハセッパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

### 2)備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

### 3)備品消毒箇所

#### (1)マネキン

- ・胸部
- ・頸部
- ・顔面

#### (2)BVM

#### (3)AED



### 4)その他

- ・受講者2人につき、マネキン1体とする
- ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



## 2. 気道管理ブース

### 1)受講者・指導者手指消毒(ハセッパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

### 2)備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

### 3)備品消毒箇所

- ・気道管理マネキンの顔面
- ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバーマスク
- ・エアウェイ
- ・喉頭鏡
- ・気管チューブ
- ・スタイルット
- ・赤シリンジ
- ・カフ圧計



### 4)その他

- ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。

## 3. モニターブース

### 1)受講者・指導者手指消毒(ハセッパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前



## 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

## 3) 備品消毒箇所

### (1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

### (2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



## 4. シナリオブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセッパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

### 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施



## 3) 備品消毒箇所

### (1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

### (2) BVM

### (3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

### (4) 輸液・薬剤

### (5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



# タイムテーブル



## 〈実施内容〉

開催日時	令和4年6月18日（土） 9:20～17:00		
受講者数	12名		
対象	初期研修医		
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター		

## 〈スケジュール〉

			グループ(A)	グループ(B)
09:10～09:20	20分	受付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的研修室	
09:30～10:10	40分	BLS+AED	シミュレーション室1	シミュレーション室2
10:10～10:20	10分	休憩・移動		
10:20～11:10	50分	気道管理/ モニター	気道管理 シミュレーション室1	モニター シミュレーション室2
11:10～11:20	10分	休憩・移動		
11:20～12:10	50分	気道管理/ モニター	気道管理 シミュレーション室2	モニター シミュレーション室1
12:10～13:00	50分	昼食		
13:00～13:10	10分	デモンストレーション +移動	BLS・ALSデモンストレーション シミュレーション室1	
13:10～14:20	80分	チーム蘇生 VF/VT	シミュレーション室1	シミュレーション室2
14:20～14:30	10分	休憩・移動		
14:30～15:20	50分	non VF/VT	シミュレーション室2	シミュレーション室1
15:20～15:30	10分	休憩・移動		
15:30～16:40	70分	Megaコード	シミュレーション室2	シミュレーション室1
16:40～16:50	10分	移動		
16:50～17:00	10分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 多目的研修室	

午前：気道管理

インストラクター：★高山 横山  
アシスタント：古川

午後：シミュ1

インストラクター：★高山 横山  
アシスタント：古川

午前：モニター

インストラクター：★徳満 百木  
アシスタント：中山

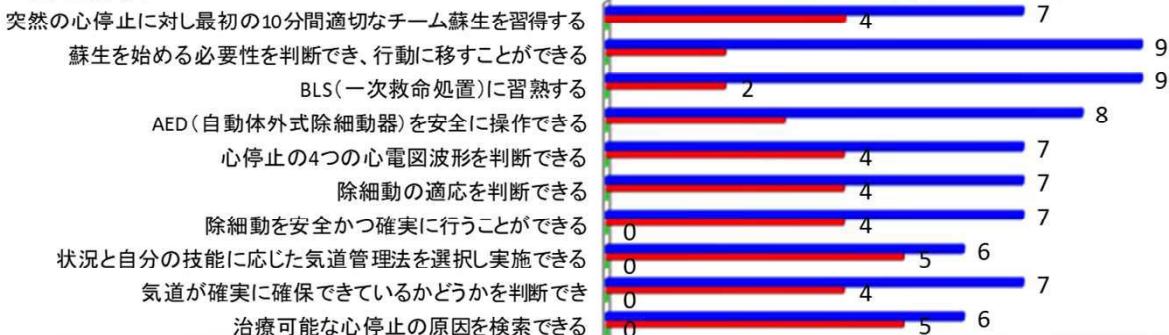
午後：シミュ2

インストラクター：★徳満 百木  
アシスタント：中山

## ◆アンケート◆ 受講生の声

### 1)到達項目について、到達できたと思いますか

#### 自己評価



### 2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどう変わったと思いますか？

- 変わったと思う。(4)
- 特にALSについての理解が深まった。
- 自信を持って対応できるようになった。
- CPRの流れがわかった。
- 当初より落ち着いて行動できた。
- 知識が身につきました。
- 発言に自信を持てました。
- 自分ができることできないことを把握することができた。

### 3)カリキュラムについて、お尋ねします



### 4)インストラクターに一言

- ありがとうございました。(多)
- お忙しい中ありがとうございました。毎回フィードバックして頂き、改善点など分かってより勉強になりました。
- 現場のエピソード等があって、イメージがしやすかった。
- とても分かりやすく教えていただきありがとうございました！
- 長い時間にわたり本当にありがとうございました。
- 丁寧に教えてくださいありがとうございました。
- 1日中指導していただきありがとうございました。

### 5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- 待機室が寒かった。
- 暑かった。(2)
- 寒かった。
- 特になし(7)

### 6)参加費は…



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

- 記載なし

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

- 希望者なし



## ◆アンケート◆ スタッフの声

### 【受講生について】

1)受講者の態度・意欲はどうだったか？

- 良かったと思います
- 人それぞれ
- 全体としては、意欲的でした。学ぼうという姿勢もありましたが、講師に『〇〇せろってこと!?!』と反発する態度をする場面も見受けられた。
- 最初はおとなしめでしたが、良くなっています。

2)予備知識(予習含む)はどうだったか？

- 多少の不足はあったと思いますが、概ね十分でした。
- 問題なし。回っている診療科により差がある印象。
- 基本的にはできていたと思う。
- 個人差あり。おそらくテキストを読み込んできていない受講生が多くかった印象です。
- 事前学習は不足していました。

3)到達項目について、到達できたと思いますか？



### 【インストラクターについて】

4)自身はどうでしたか？

- 若干しどろもどろでした。
- 楽しくできました。
- 日々、勉強が必要と感じました。
- モニターと気道のブースはまだ指導力不足を感じた。
- 久しぶりのコース参加であり、BLSや気道管理の事前準備を主に行つた。  
気道管理に関しては、気管挿管を全くしたことがないグループにおいて特に時間を要し、時間管理が出来なかった。  
シナリオでは心電図波形を変更しなければならないタイミングで出来なかつた場面があった。振り返りではコアな部分を中心に指導を行えた。
- デブリーフィングで話し過ぎました。

## 5)同僚のインストラクターはどうでしたか？

- 自分の不十分な部分をフォローしていただきました。ありがとうございます。
- わかりやすい指導だった。
- 一生懸命に指導されていました。
- 指導の仕方が特に参考になった。
- 受講生がCPRをやめてまで気管挿管や換気の際に呼吸音を何回も確認しようとしたり、コアな部分以外に必死に行なおうとしている場面を軌道修正して下さり、大変助かりました。様々な指導の場面において機転の利かせ方や伝える能力のすごさを実感させて頂き、大変勉強になりました。
- インタラクティブでした。

## 6)アシスタント、テューターはどうでしたか？

- 頼もしかったです。
- 不足の点を補ってもらえた。
- 自信を持って指導されており、的を得た指導をされていた。振り返りに関しては、一方的に伝えるフィードバックになっていたため、受講生の気づきに繋がるような振り返り（デブリーフィング）ができればなお良いと思いました。
- ポイントを意識した指導でした。

## 7)到達項目を十分教えることが出来ましたか？



## 8)講習会全体について



## その他の意見

- シナリオに関して、所々変更したり、使いづらいようなシナリオも混ざっているため、そのまま使えるようなシナリオに変更していただけたと大変ありがとうございます。
- いつも、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いします。

## 9)運営者について

### 1. 当日の運営はどうでしたか？

- スムーズだった。
- 細かいところへの配慮や機材を拭いてくださったり、大変助かりました。
- 問題なく運営できていました。



### 2. 当日までの準備はどうでしたか？

- 良かった(2名)
- しっかり行っていただいたと思います。

## 10)今後のこの会についてひとこと

- 7月もきます！
- 今後も参加したい。
- コロナ禍で資機材の準備などの清掃に時間を要するため、全員がディスポ手袋を装着することで清掃時間を短縮できたりできないかなーと思いました。

## フォトギャラリー

